八丈町 News Letter From Hachijyo Town Assembly

議会だより

No. 163
2012.7.25

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます
http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html

建設中の町役場新庁舎

目次

- 第２回八丈町定例議会 …… 2
- 一般質問 …… 4
- 第２回定例会の質疑から …… 10

第2回八丈町定例議会

白内障の手術、実現へ

昨年の東日本大震災から1年3ヶ月後の6月議会では、7名が一般質問に立ち、様々な観点から議論が行われました。この1年を通して大きな比重を占めていた震災対応、島内対策にも一定の目途がつき、町独自の問題に議論が移っていきました。

そのひとつが、白内障手術の問題です。

3月議会では、これまで眼科診療を担当してきた日本医科大学は、医師の退職の影響が大きく、通常の診療にも支障をきたす可能性があるので難しい、という説明でした。

そこで、町は別の医局から医師の派遣を受けて実現させるという方向性も模索しましたが、最終的には従来の日本医大が担当し、白内障の手術ができることになりました。

今後は必要な資機材の選定、予算措置をへて、いよいよ実現の運びとなります。

ここまでこぎつけることができたのは、関係者の努力と協力があってのことですが、5千人を超える署名と、議会での繰り返しの要望が大きく後押ししたと思います。

○

もうひとつは、町立病院の院外処方についてです。

現在、町立病院の薬局では薬剤師の不足から調剤に時間がかかり、町民に不便を強いてきたことから薬剤師の増員や院外処方という選択肢も検討されてきました。

島内には調剤薬局もあり、新たに開業する事業者もあります。

住民の利便性向上に資するものであれば、導入してほしいという肯定的な意見が多いようです。

一方、患者の負担増や薬価差益が減少するなど課題も多くあります。

住民サービス、病院経営の両面から検討を進めるとして、今回、町の結論は出ませんでした。

町立八丈病院薬局

しかし、医療面では離島はハンディが大きく、町民の安心安全を守るため には優先して取り組むべき課題です。

その後の展開　院外処方は

6月議会では、院外処方についての町の方針は示されませんでした。

しかし、実際には6月15日から、医師の判断により患者を選びながら院外処方箋の交付を行っています。

院内での検討、町としての方針を受けて経済企業委員会における議論を踏まえた上で結論を出すという答弁だったので、この決定は議会軽視と言わざるをえません。

まことに遺憾です。

島内の調剤薬局全てに対して試験運用を行わないなど公平性にも欠けます。

議会としては、この問題を看過できないと考えているので、今後きちんと町を問いただしていきたいと思います。

当編集委員会では、町執行部に対し院外処方箋交付の目的・期間および対象人数について質問し、回答を得ましたので、原文どおり掲載します。

1．目的

病院で扱っていない薬および後発医薬品などについて、院外処方の移行とはかかわりなく、院外の調剤薬局で取り扱える処方箋を患者の利便性の向上のため、医者の判断で一部出していきます。

その際、アンケートも実施し、今後の参考としたい。

2．実施期間

6月15日（金）～実施

1日30件（最大）

41件（6月15日～22日）

平均外来患者　180件

スポーツにおける観光誘致対策を

答　関連部署、機関と検討して早急に進める

菊池 良 議員

◆所要時間　31分

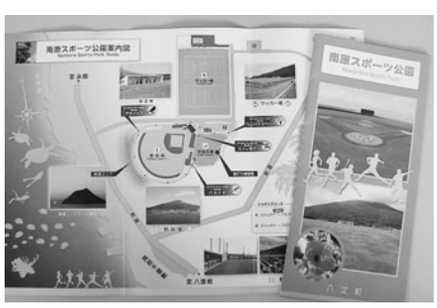
質　問　スポーツにおける観光誘致対策という事でハード面、ソフト面いずれにおいても、対策が追いついていないように見受けられる。この夏、国士舘大学女子柔道部の合宿が正式に決まり、付随していくつかの大学から合同での合宿をしたいとの問い合わせがあった。時期、宿舎、練習場、設備等で受け入れが出来ないだろうとの判断で来年度以降再検討することになった。また、同大学サッカー部も合宿候補地として検討している。東京から近いという条件と、合宿所としての組織のあり方、民間、観光協会等の役割分担連携など、関連部署、機関と検討して早急に対応を進める。

再質問　①最終的に屋外練習場が必要になると思うが町の考えは。

②誘致受け入れの窓口がはっきりしないので、町の中での組織の作り方を考えては。

答　山下 奉也 町長

①南原スポーツ公園に場所を確保している。財源確保の関係で具体的には考えていない。どのような方を呼ぶのか、規模、来島人数などを考慮し、今後具体的に計画を行う。



南原スポーツ公園のパンフレット

②組織の柔軟性を養うために現在プロジェクトで対応している。今年度は、新庁舎移転もあり、機構改革を出来るだけ早いうちに考えたい。

答　山越 整 総務課長

八丈高校への国内留学制度の実施、受け入れを

答　島しょ教育長会で議題に上げ、意見がまとまれば東京都教育庁に要望する

質　問　各島と話し合い、また東京都とも調整して伊豆・小笠原諸島を教育特区として、国内から留学生を受け入れることを考えては。すでに島根県隠岐島前高等学校では実施している。各学校も外からの血が入ることで活性化し実績が上がっていると聞きている。末吉小学校の建物や撤退した気象・海保等の宿舎を寮として活用するなど、他島との連携の上検討を。

答　教育長

教育委員会としては、八丈高校に全員入学できるメリットを生かし小中高の連携教育を更に充実発展させて学力向上を図る。また、八丈高校自身にも魅力的な課を新たに設けるなどして都内からも入学したい思う高校に更に成長していただきたいと期待している。そのためにも中高の連携を一層強化すると共に小中学校の教育を充実させることに努める。特区による留学制度については、八丈高校の校長先生、支庁の教育庁出張所に具申する。また、小笠原まで含めた島しょ教育長会が年3回実施されるので、そこで議題に上げて意見がまとまったら東京都教育庁に要望する。

●こんな質問もしました

質問　全国離島交流中学生野球大会準備の進捗状況は

回答は、現在の進捗状況と今後の予定について説明があった。

学校給食における島内産食材の自給率向上を

答　前年度の割合を超えるよう取り組んでいく

岩崎　由美　議員

◆所要時間　22分

質　問　食の安全、農水産業の活性化に繋がる学校給食の島内産食材の割合を高めていく件について伺う。

①今年度の自給率割合の目標値は。

②今後の事業計画はどのように考えているか。

答　福田　高峰　教育課長

①できるだけ島内産食材を取り入れていきたい。現在農協より購入しているもの以外にも品目を増やせないか依頼している。23年度提供した194食中、95食に島の食材を提供した。今年度はこの数字を超えるよう取り組んでいく。

②昨年度食育読本を作成し、島の食材を積極的に取り入れるようPRしている。今年度の食育推進事業では明日葉をテーマにした食育授業を計画。明日葉を使った調理実習、農家の方との交流給食を予定。

景観を保全するための施策を

答　他の自治体を参考に、少しずつ検討していきたい

質　問　八丈島の景観をまもり、観光資源としての島の価値の向上をはかるとともに、後生に残していくために、景観保全条例等の制定が必要と考えるが、これに対する町の考えを伺いたい。

答　佐々木　眞理　企画財政課長

八丈島は「自然公園法」「東京都景観条例」などの大きな法的の網がかかっている他、町の「環境公害等規制に関する条例」や「修景美化条例」がある。新たに細かな規制をかけることはどうか、と考えている。他の自治体を参考に検討させていただきたい。

再質問　条例に固執しているわけではない。大潟浦電信柱の問題が起きてしまった背景は。

答　企画財政課長

横の連携がとれていなかったこと。当該地域の位置づけについて、島内で共通認識がもたれていなかったことに原因がある。

再々質問　共通の認識をもつためにはどうしたらよいか。

答　企画財政課長

共通認識を持つことは大変な事。ゆるやかなゾーニングを行政として示していきたい。少しずつ検討していきたいと考えている。

八丈島一般廃棄物管理型処分場の水道供給について

答　安全安心に対する評価変更ではないとの認識

質　問　八丈島一般廃棄物管理型処分場の施設管理に必要な水道供給については給水車で運搬することが明らかになった。これに関する事前評価が一組が平成20年6月24日に環境省へ提出していたものと、着工前の平成21年12月18日に東京都へ提出したものでは内容が異なっていたが、これについて伺う。

①この件について町は事前に知らされていたか。

②給水車で水を供給する年間コストはどの程度と予測されるか。

③焼却灰の飛散を防ぐために覆土への散水は行うか。

答　佐藤　真一　住民課長

①町への事前通知文書はなかった。本件は処分場施設の安全安心に対する評価変更でなく、管理運営上の問題と認識している。

②一組が現在試算しているが、入札に関わる項目により具体的な数字を示すことはできない。

③飛散防止のための散水は行うことになっている。施設内に貯水された処理済みの浸出水等を再利用する。

再質問　管理運営上の問題ではなく、用地選定に関わる問題であると考えるが、いかがか。

答　住民課長

安全に関する問題とはとらえていない。工事過程および供用開始後の管理運営は、運営協議会の機能を活かし、地域住民の安全安心を得られると考えている。

防空壕利用についての指針を示す考えは

答　安全が担保できない以上指針を示すことは厳しい

山下 崇 議員

◆所要時間　22分

質　問　①八丈島の自然を紹介するツアーが多く行われている。遊歩道等に関しては設置者が一義的に管理を行うものと考えるが、国立公園内ということを踏まえた設計や管理は適切に行われているか。また、利用に当たっての指針も示されていないが制定する考えは無いか。

②史実に残り非常に価値のある宇喜多秀家公の墓所の保存や公開方法など議論に上るところである。一方、最近の傾向としては近代史における遺構が注目され、八丈島では戦争遺跡である防空壕が該当する。しかし、島内の防空壕は沖縄等とは違い公式に管理公開されている場所は一カ所もない。

(1)紹介する書籍が販売されている事実を把握しているか。(2)商業利用している業者がどれだけいるか。(3)管理者が明確な壕は何カ所か。

以上3点を踏まえ、指針を示す考えは無いか。

答　奥山 拓 産業観光課長

①町が管理している遊歩道については利用者に迷惑がかからないように情報を収集しながら整備を進めている。整備に関しては、国立公園内ということもあり、規制区域などでは関係機関の指導、助言を得て年度別計画を策定し計画的に設計、管理を行っている。利用にあたっての指針については自然を保全するという観点から調査、パトロールは必要である。指針の策定にあたっては自然利用をしている団体、関係機関と連携して指針の策定が妥当かどうかも含めて検討したい。

②島内にある防空壕については、場所の特定や所有者の関係上全ては把握していない。町有地内にあり水源となっている防空壕（鉄壁山）については、管理上4年前に立ち入り禁止の措置をおこなった。(1)書籍の販売は把握している。(2)具体的に把握していない。(3)町有地以外は個々の状況が様々なため把握していない、指針については個々の状況を把握することが困難な上、最も優先すべき安全が担保できない以上指針を示すことは厳しい。

鉄壁山防空壕

再質問　①管理している遊歩道は何本有るか。設置管理は誰が行い、計画策定には誰が関わっているか。

②立ち入り禁止措置を講じたとの回答だったが何もされていない。どういうことか。

答　産業観光課長

①八丈富士登山道、唐滝、硫黄沼への道等である。本年度の事業計画は八丈富士登山道にスロープを造る予定。計画策定には島内ガイド事業者に相談しながら予算との兼ね合いを見ながら策定している。

②確認したところロープも看板も持ち去られていた。再度ロープと看板を設置した。

再々質問　①自然利用の指針も無いのにガイド事業者に相談というのは納得できない。

②事故が起きる前に書籍の発行差し止めを求めてはどうか。

答　産業観光課長

①平成14年9月に設立した団体の活動状況を確認して指針の合理性を確認しながら進めて行く。

②明確に立ち入り禁止としているのでその旨発行元に申し入れる。

●こんな質問もしました

質問　八丈小島の自治制度、歴史・文化の保存を

答　町制施行60周年に向けて資料の収集・歴史民俗資料館リニューアルに向けて設置を検討する

食料品や救援物資を各地域に備蓄すべき

答 **現在、坂下、坂上各2カ所に保管。今後、分散配置する**

水野 佳子 議員

◆所要時間　14分

質　問　防災計画見直しの進捗状況は。

①特に高齢者や障害を持つ方への避難、誘導に対する具体的な体制作りは出来たか。

②避難所の各施設の収容人員と耐震設備は十分か。食料品や救援物資を各地域に備蓄しておくべきと思うが町の考えは。

③食料等の備蓄が不十分と感じる。更なる防災対策を求める。

答　**山越 整 総務課長**

①「わが家の防災対策」の中のハザードマップを手直しし、抜粋したものを9月中に広報に折り込み全戸配布する。別途「災害時要援護者避難体制整備事業」を進めている。（＊1参照）

②一時収容は収用人数が1万796人で、地域の偏りはあるが1万人以上の一時的収容が出来る。食料品の備蓄は、坂下、坂上に各2カ所保管しているが、今後は分散配備を考えている。

③アルファ化米が備蓄食料であるが、1万食追加を頂き島全体で3万9700食の備蓄がある。今後の備蓄は、簡易的なビニール袋形式のトイレが必要と考えている。

＊1「災害時要援護者避難体制整備事業」
災害時に援護が必要な方の情報を地図情報と連携させて防災体制に活用する。平成22年度開始、今年度が最終年度となる。

院外の処方箋の実施準備が進んでいるようだが、薬を配達する制度を作っては

答 **町としては院外処方を出すかどうか決めていない。サービス面は事業者が考えること**

質　問　院外の処方箋の実施準備が進んでいるようだが、病院の窓口で薬を受け取れなくなった場合、特に高齢者や坂上地区の希望者に配達をする制度を作っては。住民に優しい行政の第一歩と考える。

答　**伊勢崎 孝久 病院事務長**　院外処方のことは町内部で考え方をまとめ経済企業委員協議会に相談し決定する。薬を配達する制度は民間がそれぞれの立場で取り組むことである。得ている情報としては、前から営業しているところは配達を行っている。これから営業する所は経営者の判断となる。

答　**土屋 久公営企業管理者**　町としては院外処方を出すかどうか決めていない。経済企業委員会で相談し、決定したら準備に対する説明を行う。サービス面は、それぞれの事業者が考えることであり町からは何も言えない。

目で察知して避難する方式の導入を

答 **防災無線と避難誘導の組み合わせを考えている**

山下 松邦 議員

◆所要時間　12分

質　問　①八丈島で海抜30メートルより下に住んでいる世帯は623世帯である。自力で避難できない方々はテレビ報道等を見て不安になっていると思う。安心して生活するために短時間での避難場所整備が急務である。前回作成したハザードマップでは、避難の標高が三根18メートル、大賀郷28メートル、中之郷、末吉が22メートルになっているが見直す考えはないか。

②三宅島ではガス発生濃度をサイレンと電光掲示板で、遠くで見ても解るようにしている。八丈島では防災無線が風向きによっては聞こえず、携帯電話も通じない場所がある。目で察知して避難する三宅島のような方式を導入しては。

答　**山越 整 総務課長**

①「災害時要援護者避難体制整備事業」（＊1参照）を進めるにあたり、民生委員さんに毎年お願いしている高齢者実態調査の中で、

要援護者として地図情報への掲載意向と支援についての確認を行っている。７月以降データ収集した後、地図情報への入力を行う。

②南原スポーツ公園においては、既存の防災無線の屋外拡声器が離れた位置にあるので、公園内に新設する。防災無線と避難誘導の組み合わせを考えているが、避難誘導で海岸付近に出ることは危険をはらんでいる。避難誘導にあたる方が「命をもって、命を救った」という事態にならないように、どのような判断で避難誘導にあたるかの基準を設けたい。

末吉学校跡地を室内スポーツ合宿所にしては

答 提案の一つとして取り上げる

質　問　雨風の多い八丈島でも練習に問題なく、温泉も近いので、若いスポーツ選手に大いに喜ばれると思う。多くの学校に発信し誘致したいと考えるが。

答　菊池良企画財政課主幹

看護学校に利用できないかということで、医療法人赤枝会と交渉したが合意に至らなかった。跡地利用は地元末吉の意向を聞きながら検討する。室内スポーツ合宿所への利用は提案の一つと取り上げ、校舎やグラウンド、温泉などの諸施設と連携させ、どのように活用すれば有効利用できるかまとめたい。

新しく建設される集会施設のこけら落としとテレビ番組のコラボレーションを

答 運営協議会、教育委員会、執行部などで時期、内容を協議する

質　問　新庁舎集会施設のこけら落としに「ＮＨＫのど自慢」が実現出来たらと話を進めてきたが、カメラや照明器具設置場所に前列客席３００席が必要とのこと。１階席が３００席に満たない施設では断念せざるを得ない。そこでＮＨＫには様々なイベントが数多くあると伺っているので、誘致にアプローチしては如何か。また、何処にでも出張するとのＰＲで「お宝鑑定団」という民放番組があるが、そこにアクセスしては。実現できれば町をあげての祝賀行事になり、島外に向け大きくＰＲ出来ると考える。

答　福田高峰教育課長

現在は「なんでも鑑定団」に名称が変更されている人気番組で、自治体が地元の振興やＰＲも含め多数手を挙げていると聞く。大変おもしろいイベントだが、集会施設のこけら落としとして適当か、オーケストラなどの音楽関係や舞踊、講演会なども考えられ、時期も決まっていない。運営協議会、教育委員会、執行部などで時期、内容等を協議する。

長戸路屋敷を取得し、一般開放する考えは

答 八丈町文化財専門委員会、教育委員会に諮り考えを決めていく

廣江才議員

◆所要時間　9分

質　問　文化財保護と観光資源としての観点から、改めて代官所跡地としての長戸路屋敷に関して尋ねる。

先日、都の教育庁八丈島出張所の小川氏から、長戸路屋敷に対して文化庁の調査が入ることを聞いたが、大変喜ばしく、大きな前進であると考える。十二本足の高倉や手を加えられているが様式を数多く残している本宅、全体の配置など代官所の屋敷としての形が色濃く、また、多少崩れかかっているが、正面の玉石の階段、廊下に面した大きな敷石など、当時の公共工事としての役割など、屋敷全体を本島として、歴史的意義を文化庁に深く認識してもらわなければならない。また、長戸路屋敷は観光資源として、ランドマーク的意味合いを持つと考える。

そこで、保護、および観光資源の観点から、取得の具体化のため、本格的に国、および都への要望を強く働きかけたいと思うが、町として真剣に取得し、一般開放する考えがあるのか。また、八丈町は、自然に美しい島であるが、見過ごされている歴史的文化財が多々眠っている。われわれは島民のみならず、都、国の共有の財産として、これからも積極的に保護し、後世に残していく義務があると考える。

答　福田　高峰　教育課長

昨年7月に所有者の方、東京都教育庁地域教育支援部管理課文化財保護係、八丈出張所、町と都庁内で打ち合わせを行った。調査は所有者の承諾があり、都は調査を実施するにあたり調査方法等について計画を立てるとのことであった。今年4月、調査に約1５０万円かかり、都の単費での調査はできず、今年10月以降文化庁の補助事業である近代化遺産調査を実施する予定で、この調査の対象になる見込みであるとの回答があった。町としても八丈島の価値のある建造物であると認識しているが、歴史的意義や文化的価値について、調査が行われ、文化財としての価値を見極めた上で、八丈町文化財専門委員会、教育委員会にも諮り考えを決めていく。

長戸路屋敷

院外薬局開業で住民にとって予想される利害得失は

答　**十分な服薬指導を受けられる。薬を受け取るまでの手間が増える、など。**

菊池　睦男　議員

◆所要時間　60分

質　問　薬剤市場への民間参入が住民・町立病院経営に与える影響についてどう把握しているか。

①住民にとって予想される利害得失は何か。

②オープン時期の把握をしているのか。

③町立病院では、患者は処方箋を見る機会がないが今後はどうなるのか。

④患者は薬の受け取りを院内薬局にするか院外薬局にするかを選択できるのか。

⑤今までと違いどういうシステムになっていくのか、住民に告知する必要があると思うが。

⑥病院にとって予想される利害得失とは。

⑦激しい競争が予想されるが、(1)薬品の医療収益減額とそれに伴う利益減額の見積もりは、(2)患者へのサービス向上をどう考えているか、(3)ジェネリック薬品の利用率アップは視野にあるか、(4)患者が希望すればジェネリック薬品の処方は可能か、(5)その他の改善策、対応策を考えているか。

答　伊勢崎　孝久　病院事務長

院外薬局への移行は決まっていないので、移行した場合について回答する。

①外来でも入院でも十分な服薬指導を受ける機会が増える。また、民間ならではのサービスが期待できる。マイナス面は、患者の外来一部負担金の増と、病院で処方箋を受け取り、院外薬局で薬を受け取る手間がかかる。

②６月中旬頃と聞いている。

③病院の会計を済ませた後、処方箋を出す。処方箋を院外薬局へ持っていき薬を受け取り、代金を支払う流れとなる。

④原則として選択ではない。

⑤院外薬局に移行することとなれば広報等で説明する。

⑥薬剤に係る収支差額分が減少する。薬品の在庫が大幅に減少し、在庫管理、棚卸、発注業務の負担が軽減されるだけでなく、今後、高額調剤機器の購入が減る。

⑦院外薬局間での競争はあると思うが、病院の薬局と院外薬局との競争は無い。(1)現時点での収支は見込めていない。(2)薬剤師による入院患者への服薬指導が充実する。薬剤師が病棟で仕事をすることで、看護師の

負担軽減となり、入院患者への看護サービスの充実や医療安全の向上につながる。(3)(4)医師が認めたものについて、院外薬局で受け取れることになる。

答　土屋久公営企業管理者　⑦(5)院外薬局については、役場内部で考え方をまとめ改めて経済企業委員協議会に相談し決定したい。その他の改善対応策は、平成24年度の診療報酬改定を受け病棟に薬剤師を配置するなどの準備を進めている。実際に病棟に薬剤師が配置されれば看護師の仕事が楽になる。あるいは、条件等が整っていけば、医療点数が取れるということもあるのでそれを目指す。現在町立病院では扱っていない医薬品、後発医薬品があるが、院外処方に移行することに係わりなく、患者の利便性向上のため院外調剤薬局が取り扱う処方箋を一部発行する。すでにこのような患者さんがいるので、その方が島外に行く負担を軽減するためにも実施していきたい。

町立病院で処方されている薬の外袋

再質問　①病院で薬を渡す時間の延長はできないか。②経過措置として、院内、院外処方を併用で行えないか。③ジェネリック利用率が現在5％だが、利用率を高める覚悟は。④院外薬局に町長は慎重姿勢を表明しているが、事務長、公営企業管理者は既定の路線として受け取られる答弁をしている。町長の考えは変わったのか。

答　病院事務長　①ルールなのでご協力を。②院外に出すか決めていないので考えを持ち合わせていない。③先発、後発医薬品の両方を出すことは、両方の在庫を抱えることから経営の面で困難。医薬品の採用は医師が決めることであり、公営企業管理者の答弁のとおり、院外調剤薬局が取り扱う処方箋の一部発行を行うことで一歩前進したと考える。

答　山下奉也町長　④考えは変わっていない。住民サービス、経営の面で議論しないと先に進まない。庁内で話し合い経済企業委員会、最終的には全員協議会で考える。併存、配達の提案もあるが決定後考えることである。院外薬局の話があった時点から変わった点は、診療報酬改定により2階にも必ず薬剤師を置かなければ診療報酬が請求できなくなった。そのような面で早く細かい点まで皆さんと相談して決定したい。

第2回定例会の質疑から

鉄壁山防空壕・観光資源としての活用を

菊池睦男議員　山下崇議員が一般質問で行った鉄壁山の件（6頁参照）は、戦争遺産であり、戦争を求めて旅をする人もいる。危険な状況があれば崩れそうなところを修復し、入れないようにして、ガイド付で見物を許すなどの対応で観光資源として利用しては。

長戸路義郎議員　入口が10メートル崩れているだけで、唯一町所有の土地にある安心して入れる洞窟である。島の防空壕の総延長は60キロメートルあるが、他の防空壕を観光資源として利用しようとしても地主の許可が得られない。立ち入り禁止にするのは問題がある。

奥山拓産業観光課長　安全性が一番であり、安全性が確保された後の話となる。安全性の調査が最初と考えている。

●こんな質問もしました

質問　再生可能エネルギー実用化への検討を求める

答　国や都と連携しながら実用化に取り組む

末吉学校跡地利用計画を

沖山宗春議員　教育施設として活用するにはどのような利用方法があるのか教育長に伺う。地域住民参加を念頭に置き、年間を通して活用できる案を早急に作ってほしい。

佐藤誠教育長　各課で案を出し合って考えることだが、教育課としては、島外から子供を呼ぶ、大学等のスポーツ関係受け入れ、コンソーシアムの自然塾関係で利用、島内の子供においては、宿泊させることで子供を鍛えることができるので、宿泊センターとして有効活用できればと考えている。

持丸孝松副町長　民間圧迫にならない、末吉地域、町全体を考えた案を全員協議会などに提示し相談したい。

空き家の整理を

奥山博文議員　町全体の空き家を把握しているか、島外在住所有者の税金滞納件数、総額は。

山越整総務課長　平成19年3月の民間空き家調査では150件、別荘を加えて合計222件。その内居住できない物件23件、手直しが必要な物件23件、持ち主の確認ができ、空き家だが使用する物件66件。

川上明和税務課主幹　島外滞納者で、何処にも居住を置いていない方の滞納は10件、約300万円。

奥山博文議員　台風の際危険な物件がある。将来、滞納と持ち主、相続人不明となる物件が増える状況が見込まれるので整理すべきである。

総務課長　持ち主の承諾を得ないまま家への対応をすることは、現状手が出せない。その様な問題を別としたデータ的整理を行いたい。

奥山博文議員　所有者が分かる物件に対してはあらかじめ印を貰い、対処していただく、かかった費用を負担していただくなどの対応を進めるべき。

山下崇議員　危険な建物の数把握は。また、行政代執行で解体できないか。

総務課長　データ整備の中で危険建物の調査を行う。所有者を把握して話をどこまで進められるかによる。

白内障治療機械の予算において寄付を募る考えは

山下松邦議員　白内障治療における医師の確保は確定したか、医療機械の予算確保が困難であれば寄付を募る考えはないか。

土屋久公営企業管理者　日医大からは医療機械についてのリクエストと、重い症状の患者は本土で対応したいとの条件が提示されている。機械の見積もりが出たら相談したい。

佐々木眞理企画財政課長　用途を指定しての寄付受け入れは可能。

副町長　町全般のこともあるので、本件に関してのみの寄付を募ることは、皆さんとの相談になる。

山口英治議員　財源は半分補助の道があると考えるが。

山下奉也町長　今のところ補助はなく起債になると思う。その中で一部補助が頂ければと考える。

●その他

◎国民健康保険税の徴収率が悪い。徴収に対する考えは

◎えこ・あぐりまーとは島中の皆さんが参加して野菜を売る施設に生まれ変わるというが、運用できる確証があるのか

◎宇喜多秀家ガイドブック作成の進捗状況は

◎ふるさと村の母屋などの茅葺き屋根が落ちる恐れがあるが

◎富士登山道の階段整備を

◎防災無線、耳が不自由な人への対応は

などの質問しました。

町ナビ

６月８日、底土海岸で 06 年以来、６年ぶりとなるアカウミガメの産卵が確認された。もう空は明るい時間帯だったため多くの住民が産卵の瞬間を見守った。産卵後には右前足に識別用のタグが付けられ、海に還っていった。卵は通常 50 ～ 65 日後にふ化するため、８月初旬からお盆の辺りまでに子ガメが這い出して海に還る場面も見られそうだ。

6月定例会主な議決事項

- 専決処分事項の報告及び承認について（平成23年度八丈町一般会計補正予算）ほか専決処分5件
- 平成23年度八丈町一般会計継続費繰越額の報告について ほか報告1件
- 平成24年度八丈町一般会計補正予算
- 八丈町組織条例の一部を改正する条例 ほか条例改正1件
- 議員の派遣承認について（青ヶ島牛祭り）ほか1件

編集後記

世界自然遺産に登録して一年が経過した小笠原へ第３１回親善訪問団の一員として参加させて頂きました。個性あふれる小笠原の自然は予想以上に多くの人をひきつけており、自然を守り活用していくためには行政の役割が重要であることを再認識しました。さて、このほど成立した改正離島振興法のソフト事業への財政支援や「離島特区制度」の創設は、島民が自慢できる「八丈島らしさ」を作り出すための大きなチャンス。今こそ島をあげて知恵を出し合うべき時ではないか…と感じています。

岩崎　由美

発行人　八丈町議会議長 小澤一美
編　集　議会だより編集委員会　委員　山下崇　岩崎由美　水野佳子　奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2345-1　tel 04996-2-1121　fax 04996-2-5575